

高島屋美術部創設 110 年記念

2017 年 6 月

四代 田辺竹雲齋 襲名展

■6月28日(水)～7月3日(月)日本橋高島屋6階美術画廊

竹のインスタレーション「Connection」

1階正面ホールにて全長5mのオブジェを公開制作及び展示

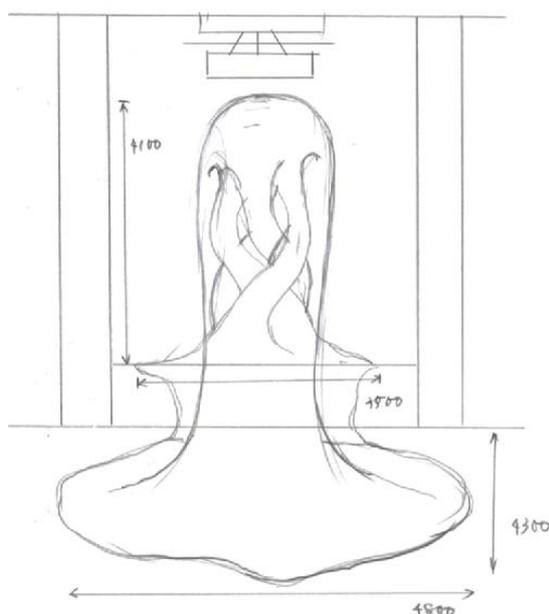
■6月21日(水)～6月27日(火)公開制作

■6月28日(水)～7月11日(火)展示

このたび高島屋では「高島屋美術部創設110年記念 四代 田辺竹雲齋 襲名展」を開催いたします。

明治時代に端を発する田辺竹雲齋氏。大阪府堺市で竹工芸の心と技を継承してきました。当代は幼少より竹を始め、東京藝術大学美術部彫刻科を卒業後、父・三代竹雲齋に師事し、2006年に田辺小竹を襲名。代々伝わる技法を継承した伝統工芸作品のほか、異分野の作家とのコラボレーション、竹のインスタレーションなどで、国内をはじめ海外でも広く活躍されています。

今年、2017年3月に四代田辺竹雲齋を襲名。襲名展では「伝統と挑戦」をテーマに、竹雲齋代々の技術を継承する伝統作品や、「伝統」×「テクノロジー」の融合により竹工芸の新たな可能性を模索するオブジェ作品など、さらなる高みを目指す四代田辺竹雲齋氏渾身の新作約80点を一堂に展覧いたします。



1階正面ホール インスタレーションイメージ

←「天然竹花籃 無」 約 32×32×高さ 71cm Photo:消 忠之

個展に先立ち、6月21日（水）より1階正面ホールにて、虎皮の模様が入った虎斑竹（虎竹）を使用した全長5mの巨大な竹のインスタレーションを、1週間かけて公開制作いたします。完成した作品は、7月11日（火）までの2週間にわたって展示するとともにデモンストレーションも予定しています。

イベントスケジュール

【6階美術画廊】

＜献花＞・日時：6月28日（水）11:00

展覧会のオープニングに、四代竹雲齋氏の花籃「雲龍」を用い、花土・珠寶氏が会場で献花。神秘的な日本の美を捧げてくださいます。

＜ギャラリートーク＞

「四代 田辺竹雲齋 × 貝島佐和子」・日時：6月28日（水）14:00

シンガポールデザイン工科大学建築学部准教授の貝島佐和子氏とともに、アルゴリズムや3Dプリンタなどを使用し、テクノロジーと伝統工芸の融合に挑戦した「Disappear」シリーズの制作秘話をお話いただきます。

「四代 田辺竹雲齋 × 若宮隆志」・日時：7月2日（日）14:00

漆芸集団「彦十蒔絵」を主宰する漆芸家・若宮隆志氏。氏との長年の取り組みである竹と漆のコラボレーションを十二支で表現された、今回の展覧会のメイン作品・12点組の大作の見所を解説いたします。

【1階正面ホール】

＜デモンストレーション＞・日時：7月1日（土）11:00、14:00

四代竹雲齋の長女（8歳）と次女（6歳）によるデモンストレーションを、1階の竹のインスタレーション前で開催します。竹の種類の説明や、編み方などを披露されます。

【四代 田辺竹雲齋氏 略歴】

- 1973年 大阪府堺市に三代竹雲齋の次男として生まれる
- 1999年 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業
帰郷後、父・三代竹雲齋に師事
- 2006年 田辺小竹を襲名
- 2010年 ドイツ・バイエルン賞受賞
- 2013年 第62回伊勢神宮式年遷宮において「葛編み花籃」を奉納
- 2015年 フランス迎賓館にて竹のインスタレーション制作
タカシマヤ美術賞受賞
- 2016年 フランス ギメ美術館にて、竹のインスタレーション制作
第63回日本伝統工芸展・日本工芸会奨励賞受賞
- 2017年 四代田辺竹雲齋襲名



「Disappear IV」約26.5×24×高さ52.5cm



Photo : Yasukuni Iida

【お問合せ】 日本橋高島屋 TEL(03)3211-4111（代表）